

《コウノトリの“家”づくり》 クラウドファンディングで人工巣塔設置

～今年度中に2基の完成を目指す～

市では、平成29年に放鳥した「ヤマト（オス）」が、令和2年2月から江川地区に長期で滞在していること、また複数のコウノトリが木間ヶ瀬地区に飛来し、滞在しはじめたことから、この2地区がコウノトリ達のお気に入りと見て、人工巣塔を設置する工事を進めている。

費用については、昨年、「ヤマト」の恋人探しと銘打ち、ガバメントクラウドファンディングを実施し、目標額220万円を大きく上回る301万620円の寄附金を活用する。

人工巣塔は、江川地区に1基、木間ヶ瀬地区に1基の計2基を設置することで進めており、設置場所については、有識者からの意見及び生き物調査の結果をふまえ、江川地区については野田芽吹学園付近の民有地、木間ヶ瀬地区については駒形神社付近の市有地に決定した。なお、江川地区の民有地は、市の第3セクターで、コウノトリの飼育業務を受注している株式会社野田自然共生ファームが所有している。

木間ヶ瀬地区の人工巣塔設置工事については、9月1日付けで契約を締結した。なお、人工巣塔の擬木電柱コンクリートは、表面を木目模様にするため受注生産となっており、納品まで2か月程度の期間を要することから、工期は11月末の計画となっている。同地区の人工巣塔が完成した際は、寄附をいただいた方々や地元小学校の子ども達と完成を祝い、バルーンリリース（風船を大空に放つこと）を行いたいと考えている。

江川地区については、準備ができ次第、発注を予定している。

● 最近のコウノトリの飛来、滞在状況

木間ヶ瀬地区では、今月に入り、令和2年放鳥の「たいよう（オス）」や令和元年放鳥の「カズ（オス）」が飛来、滞在していた。地元市民から目撃情報をいただくこともあり、このまま定着してほしいという思いが高まっていると感じている。

また、木野崎地区付近に飛来した複数のコウノトリは、今月中旬まで、木野崎地区と利根川をはさんで対岸にある柳耕地（野田市域）の田んぼを行き来していた。「ヤマト（オス）」も、他のコウノトリと一緒にエサを食べている様子が確認されている。

● 人工巣塔の概要

構造：電柱の擬木仕様とし天端に鋼製巣塔を固定する

電柱ポール長さ：16m

巣塔幅：φ1.8m

末口径：190mm

● ガバメントクラウドファンディングの概要

件 名：コウノトリの人工巣塔設置

～「ヤマト君」の恋人探しを応援しよう～

目標金額：2,200,000 円

寄附期間：令和2年11月27日から令和3年2月25日まで（90日間）

寄附件数：102名・団体（うち10万円以上 16名・団体）

寄附金額：3,010,620 円

返 礼 品：ふるさと納税と同様 ※寄付は2,000円から

10万円以上の寄附をした方で、希望者には巣塔に名入れ

内 容：江川地区 1基、木間ヶ瀬地区 1基

目標金額を超えた分については、江川地区に人工巣塔の周知用看板を設置予定

【放鳥10羽の移動状況】（2021年9月27日現在）

未来：茨城県神栖市付近（2021年8月23日現在）

翔：茨城県神栖市付近

きずな：茨城県神栖市付近（2021年9月25日現在）

ひかる：栃木県小山市付近

ヤマト：野田市こうのとりの里付近

レイ：栃木県小山市付近

カズ：野田市木間ヶ瀬地区付近（2021年9月18日現在）

たいよう：茨城県神栖市付近（2021年9月25日現在）

リン：千葉県市原市付近

ミズキ：栃木県那珂川町付近

※「未来」はGPSが不通となっている。「きずな」と「カズ」についてはGPSが外れていることを確認している。「たいよう」は最初からGPSを装着していない。

問合せ＝みどりと水のまちづくり課・（直通）04-7123-1195

（代表）04-7125-1111（内線2692）

野 田 市